



うさぎ組

令和2年5月11日

おおやたこども園

うさぎ組：彦久保 藤井

子どもたちがワクワク、ドキドキしながら楽しみにしていたうさぎ組での生活でしたが、登園自粛や緊急事態宣言による休園により、全員が揃うことが難しいスタートとなりました。これから、元気いっぱいの子どもたちとたくさん遊んで、様々なことを発見して、考えて・・・と一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思っております。

本来、保護者会にてお伝えする予定でした“うさぎ組での一年間”などについてお知らせいたします。

皆と一緒に、楽しいね♪

- 友達に関心をもち、相手にも様々な思いがあることを感じます。
- 友達とのぶつかり合いも多いが、おもちゃを貸し借りしたり、順番を待ったりすることもできます。
- 簡単な遊びの決まりや約束を覚え始めます。

見て見て、こんなこともできるよ!

- 歩く、走る、跳ぶ、投げる、転がる、ぶら下がる、またぐなどの基本的な運動能力が育ち、体を動かす楽しさを感じます。
- 段々と手や指先を器用に動かすことができるようになります。
- “何でも自分でできる”という意識が育ち、大人の手助けを拒むことがあります。

3歳児の姿とは・・・?

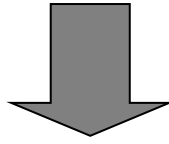


おしゃべり大好き!

- 自分の経験したことや思ったことを話すようになります。
- 「なぜ?」「どうして?」などの質問を盛んにします。
- 想像力が豊かになり、それを言葉で表現することに喜びを感じたり、「・・・のつもり」などのつもり遊びが活発になったりします。

ひとりでするよ!

- 身の回りのこと(食事、排泄、衣服の着脱、手洗いなど)がだいたいできるようになり、自分でしようとしています。
- お手伝いを喜んでしようとしています。



このような3歳児の姿を受けて、
うさぎ組では・・・

一年間の目標

- 身近な人や友達と関わりながら、自分の思いを出したり、触れ合ったりして遊ぶ楽しさを感じる
- 体を十分動かして、様々な動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう
- 身近な環境に関わる中で、自分の興味や関心、思いを自分なりの方法で表現しようとする
- 生活の流れや仕方がわかり、自分でできる喜びを感じ、自分でしようとする

友達との関わりを楽しむ一方で、子ども同士の互いの思いが衝突して葛藤も経験しながら、自分とは異なる他者の思いにも気付いていきます。一人一人の子どもが安心して自己主張ができる場を大切にします。

様々な動作や運動を十分に経験することで自分の体の動きをコントロールするなどの力が高まっていきます。室内や戸外でたくさん体を動かして遊んでいきたいです。(鬼ごっこや体操、巧技台、ボール遊びなど)

自然などの身近な環境に関わる中で、子どもたちの“何だろう？”“どうしてだろう？”など不思議に思う気持ちに寄り添いながら、一緒にその不思議さを楽しんでいきたいです。



見立てたりなりきって遊んだりする楽しさを十分味わえるように素材や衣装などを用意します。保育者も一緒になって子どもたちのイメージの世界を楽しんでいきたいです。

衣服の着脱や排泄などの基本的な生活習慣を自分でしようとしませんが、個人差が大きい年齢です。自分から取り組もうとする意欲を大事にし、試行錯誤の中で、自分でできる喜びを味わえるようにしていきます。

～ご家庭でも心がけていただきたいこと～

- ★色々なことをやってみたいけれど、まだまだ出来ないことも多い3歳児。大人からの声かけのみでなく、行動を一つ一つしっかり見届けてあげましょう。
- ★「認められたい要求」が高まる時期です。受け止め、頑張ったところ、良かったところなど具体的に伝えてあげましょう。